

みやけの風

第 28 号

平成13年(2001年)4月28日(土)発行
発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
発行責任者：上原 泰男
東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階
東京ボランティア・市民活動センター気付
TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「春だっつてのによ～、寒い日もあるもんだな」「だからぁ」「昨日は夏だと思ったら、今日は冬だじよ」「島じゃ、八十八夜の別れ西風(にし)って言ったもんだじよ、連休も過ぎればあったかくなるべえじよ」「なんたって長丁場だからよ、カラダこわすな」「おうよ、風邪ひかねえようにしなきゃな」

みんなの声

(1) ふれあい集会その後 その1

4月15日は、第二回三宅島島民ふれあい集会に参加させて頂き三宅島社協の方、又ボランティアの方々、大勢の人達の惜しめない御尽力のおかげで楽しい1日を過ごさせて頂きました。有難う御座いました、心より御礼申し上げます。

懐かしい人の顔、声、神着太鼓では1昨年と変わらない力強い音に胸が熱くなりました。

島に居れば今年の本祭りでしたね。一日も早く帰島が出来て東京の空の下ではなく、三宅島の空の下で祭りの声が聞きたいですね。

その日迄みんなで手を取り合って頑張りましょう。

(江戸川区小松川在住 佐野(坪田))

(2) ふれあい集会その後 その2

懐かしい故郷の味と香りに誘われて、舞い踊る伊ヶ谷の獅子舞、響き渡る神着木遣り太鼓、普段島に生活している時は、当たり前に見聴きした物が、新鮮に感じる反面、郷愁を誘う。環境が異なれば感じ方も異なる、不覚にも涙腺が緩んでくるのを感じた。今回町田地区にも、バスの配車を頂き13名の方が参加され、バスが会場に到着すると、右から左から懐かしい声が飛び交う。プログラム終了後、後ろ髪引かれる思いで、次なる再開を三宅島でと約束し会場を後にした。帰りの車中眠る人は無く、会場の熱気の余韻に浸っていた。

前回に続き、センターを中心としたスタッフの行き届いた心配りに対し、町田避難住民を代表して厚くお礼申し上げます。

(故郷三宅島と町田を結ぶ会

三宅島町田会 代表 飯沼正義)

)) 耳より)))) 就職情報))

アットホームな貿易商社で、 三宅の島民を社員またはパートで募集します

～勤務時間、勤務体制、期間など、諸事ご相談に乗ります～

職 種：事務所の電話応答など一般事務。簡単な経理

資 格：30歳～55歳くらい 女性

場 所：千代田区平河町(半蔵門線半蔵門駅徒歩3分)

勤 務：9：30～17：00 但し、終了時間は相談に応じます

休 日：土・日・祝日 時 給：900円 待 遇：交通費全支給

応 募：電話連絡の上、面接日時相談

問合せ：株式会社 スタート 電 話：03-3237-7166 (担当：花田)

「みやけの風」へのご意見・ご要望を、三宅島支援東京センターまでお聞かせください。

各地区からの便り

(1) 太陽の下で、皆でわいわいと

こんにちは、国立泉です。

帰りたい帰りたいと思っても帰れないのですから、気持ちの切り替えをしなければと思案中に、井沢議員の働きで地元の原田興行さんから450坪の土地を無償で借りることができました。3月26日に、三宅島の16軒百姓が泉に誕生しそれぞれの畑にジャガイモ、生姜、ネギ等の植付けをしました。畑の周りには、四季折々の花の苗ももらい植え、花の咲くのが今から楽しみです。太陽の下で思い切り体を動かし、土に触れていると夜も眠れるようになりました。野良仕事の服に、麦わら帽子をかぶり長靴をはいて、鍬を担ぎバケツをさげて道路を歩きエレベーターに乗るのは、少し抵抗がありますが、畑で皆でわいわいしていると、楽しくて一瞬島にいるような錯覚を起こします。収穫だけが目的ではなく、長引く避難生活を皆さんと楽しくやっていきたいと思っております。

いつか島に帰れることを信じて、皆さんも頑張ってください。

(国立市 高松 洋子)

(2) 『みやけサロン』を開設しています

板橋ボランティアセンターでは、三宅島の方々が気軽に集い、交流を深めていただけるよう『みやけサロン』を開設しています。コンピューターや電話も三宅の島民の方であれば、どなたでも自由に使っていただけます。お気軽にご利用ください。

イベント情報

日時	場所	内容	連絡先
5月20日(日) 13:00 ~ 17:00	稲城市総合体育館 :042-331-7151	あしたばをメダルの意匠とした「2001全日本ウエイト制空手道選手権大会」に三宅島民を無料ご招待	全日本ウエイト制空手選手権大会実行委員会事務局 担当:小菅 :0426-70-5170

設置日時：毎月第一・第三の土曜日

場所：板橋区栄町36-1 産文ホール
1階 板橋ボランティアセンター内
(都営三田線板橋区役所前 徒歩5分、
東武東上線大山駅 徒歩6分)

電話：03-5944-4601 (担当：山上)

島民の声

4月21日「みやけサロン」で、板橋社協の呼びかけの下、島民の交流会が開かれた。参加者は、島の生活ぶりを振り返り話が弾んだ。板橋には30名以上の被災者がいるといわれているが、まだ連絡会もない。今後考えようと「みやけサロン」に参加している有志で話し合っている。(佐藤)

センターからのお知らせ

黄金週間休業のお知らせ

東京センターも、うかうかしていたら、各地の島民の方たちの動きに取り残されそうな、今日この頃です。さて、東京センターは連休中お休みをいただきます。

-センターお休みの期間-

4月29(日)・30(月)、
5月3(木)～5日(土)

しっかり充電して、連休明け5月8日(火)からは通常営業です。

次回島民連絡会は、5月19日(土)午後1時から、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

なお、『とびだせセンター』もますますあちこちに伺おうと思っております。島民の方のお集まりなどがございましたら、どうぞセンターまでお知らせください。よろしくお願い致します。